

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

記

- 1 会議名 土岐商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月25日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 土岐商業高等学校 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者 学校運営協議会委員
竹下啓太 あいちビジネス専門学校 校長
藤田裕子 藤田陶器株式会社 代表取締役
青木茂久 東海旅客鉄道株式会社土岐市駅 駅長
佐野栄子 土岐地区更生保護女性会 理事
平野昇 土岐市土岐口財産区 議長
伊藤諭美 前土岐商業高等学校育友会 母親委員長
学校側
服部幸広 校長
吉田孝夫 事務長
村橋昌則 教頭
溝口美智代 教務部長
近藤大貴 生徒指導部長
千葉かをり 進路指導部長
伊藤陽介 商業部長
原田翔太 記録

5 会議の概要(協議事項)

(1) 校長の挨拶

- ・本校は伝統があり、地域からの評価が高い学校である。しかし、これに奢ることなく新しいことにも挑戦していかなければならない。これまでに、ウエイトリフティング部、珠算部、ワープロ部、情報処理研究部が全国大会に出場するなど部活動で結果を残している。

(2) 自己紹介

- ・各委員、教員が自己紹介を行った。

(3) 学校運営協議会趣旨説明(教頭)

- ・「岐阜県立土岐商業高等学校運営協議会会則」について説明して、委員の方々に同意をいただいた。学校運営協議会を通して、地域の方や保護者から様々な意見をいただき、学校運営に反映させていきたい。皆様の忌憚のないご意見をいただきたい。

(4) 学校運営、学校組織、教育課程の説明（教頭）

- ・令和6年度の教育目標ならびに教育の重点について説明し、委員の方々に同意をいただいた。
- ・令和6年度の学校運営機構ならびに職員構成について説明をした。
- ・教職員が昨年度より2名減ったが、業務の見直し等行い働き方改革を推進している。

(5) 授業の見学

- ・ICT機器を利用しやすい環境が整っていることで教員の負担も減り、授業の中にICT機器を取り入れることが容易になってきた。
- ・3年生の科目「課題研究」において、各コースの特徴や違いを確認した。

(6) 各分掌から令和6年度重点事項等の説明

①教務部

- ・定期考査前に学習時間調査を実施し、学習習慣の定着を図った。
- ・観点別学習状況評価について検討が必要である。
- ・ペーパーレス化を目指すなど、ICT機器の効果的な運用をさらに推進していく。
- ・教職員のスキルアップに向け研修等の充実を図る。
- ・ホームページの更新など、地域や中学校への広報活動を活発に行う。

②生徒指導部

- ・「遅刻防止」「挨拶」「身だしなみ」に重点を置き、1年間取り組んでいる。
- ・自転車での事故件数0を目指しているが、既に本年度事故が起きてしまっている。ヘルメット着用推進リーダー校として、交通安全意識の向上を促したい。
- ・毎月のアンケート等の実施により、生徒の様子や人間関係の実態を的確につかむとともに、保護者と連携して生徒を見守る。
- ・所属意識の高揚やコミュニケーション能力の育成の観点で部活動を推進している。また、競技力向上に努め上位大会出場を目指す。

③進路指導部

- ・卒業生と語る会やインターンシップ等により、社会人としての心構えを理解し、職業意識の高揚を図ることができた。
- ・小テストや天声人語の書き写しの継続的な実施により、基礎学力の定着につながっている。
- ・進学希望者が増加傾向にある。早期の進路意識を高めることを目標に、今年度より1、2年生に模試を導入した。
- ・学校生活のあらゆる場面でコミュニケーション力を涵養させることを意識したい。

④商業部

- ・本校商業科が取り組んでいる全国商業高等学校協会主催の検定1級取得に関しては県内トップクラスの実績である。また、日商簿記検定取得者も増加傾向にある。
- ・今年度からビジネス情報科では日商簿記検定受験をやめ、全商簿記検定受験にシフトした。
- ・高度資格取得者や商業で活躍した生徒を掲示物等で情報発信を行い、生徒が刺激を受け追随するような環境を作りたい。
- ・各コースの活動内容の可視化を図り、商業科教員間で情報共有を進め、校内外での取組の協力体制を構築する。

(7) 地域連携による活力ある学校を目指して（商業部）

- ・アプリケーションコースでは、“スパイスファクトリーあべべ”さんと連携してSNS等を活用した情報発信を行っている。
- ・マーケティングコースでは、商品開発（土岐商サイダー）を通して、地域とのつながりを作り、地元の施設である「よりみち温泉」と協力し、土岐商サイダーを題材としたフォトコンテストなどを本年も開催する予定である。
- ・土岐プレミアムアウトレットやイオンモール土岐などで定期的実施している販売実習において、本

校のみの開催にとどまらず、他校にも出品や参加を呼び掛けて交流に力を入れていきたい。

- ・コミュニケーションコースでは、“特定非営利活動法人 Mama's Café”さんが主催する絵本どうぞの会にボランティアとして参加した。また、東濃特別支援学校との交流も引き続き実施していく。

【委員の方々からのご感想・ご意見等】

意見1：資格取得で素晴らしい成果が出ている。

意見2：課題研究の授業を見学させていただいたが、専門的な内容や個に対応しなければならないので先生方のスキルが必要であり大変さを感じる。

意見3：どの授業も生徒が楽しそうに取り組んでいた。将来を見据えて今後も取り組んでほしい。

意見4：個人やグループで取り組む授業と、全体で取り組む授業の違いがみられた。どの授業も生徒の真剣さが伝わった。

意見5：これからも地域と連携した活動に取り組んでほしい。

意見6：イオンモールができ、近隣の交通量が増えている。交通事故には十分気を付けてほしい。特に、自転車利用者にはヘルメットの着用について徹底してほしい。

意見7：登校坂で車が通るときに挨拶をしてくれる。とてもいいことだが、どのように指導しているのか。
⇒挨拶の大切さについては、入学時にオリエンテーションで話をするが、坂での挨拶は特に指導していない。先輩の姿を見て引き継がれている。

(8) スクール・ミッションと教育指導の重点及び学校経営計画（校長）

- ・「どんな生徒を育てたいか」について、教職員で話し合いを行った。その結果を教育指導の重点及び学校経営計画に反映した。
- ・第4次岐阜県教育振興基本計画で示された、「目指す人間像」や「育みたい力」と4つの施策をもとに、具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策及び評価の判断基準を記載した。
- ・第1回学校運営協議会での意見等を踏まえスクール・ミッションを作成したい。

【委員の方々からのご感想・ご意見等】

意見1：高度な資格を全員が挑戦するのではなく、基礎的な資格を全員が取得できるようにすることが大切である。

意見2：地域産業の担い手育成総合戦略事業の担当校ということなので、地元でどんな仕事があるのかを知ってほしい。そのために、地場産業の経営者などによる講演会などを実施できるとよいのではないか。

意見3：社会人に求めることは元気なこと。もっと自分自身をアピールしてほしい。

意見4：個性ある生徒や心の強い生徒、優しい生徒であってほしい。自分を大切に、最後までやり遂げられるようになってほしい。

意見5：グローバルな人材として海外に目を向けてほしい。また、ICT機器を活用できる人材を育成してほしい。

意見6：これからは、個にあった教育が大切である。失敗をしても次のことが考えられるように指導援助してほしい。

(9) 校長の挨拶

本日はお忙しいところ学校運営協議会にご参加いただきありがとうございます。

冒頭説明させていただいた「教育指導の重点及び学校経営計画」ならびに学校運営（学校運営機構）にご同意いただきありがとうございます。

今後は掲げた「具体的取組、方策」に従い職務を遂行し、「達成度の判断・判定基準あるいは評価指標」に基づいた達成度の判断と評価を実施してまいります。

また、情報発信に努めるとともに、課題を見つけて取り組んでいきたい。今後ともご意見ご助言を賜りますようお願いいたします。

6 まとめ

- 第1回学校運営協議会において、「教育指導の重点及び学校経営計画」ならびに学校運営（学校運営機構）について承認が得られた。
- SNS やホームページなどの情報発信に努め、本校の取組を知っていただくためにさらに地域連携を推進していく。
- 第1回学校運営協議会での意見等を踏まえスクール・ミッションを作成する。
- 第2回は10月、第3回は2月上旬を予定している。